

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 岡山県真庭市教育委員会
2. 研究主題 : 学校統合を行う場合の教育環境充実事例
3. 研究タイトル : 地域参画で進める新しい子育て教育環境の創造
4. 研究課題 :
ア. 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
ウ. 長時間通学や、通学へのスクールバス・交通機関等の導入に伴う課題の解消に関する研究
エ. 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

真庭市北房地域において、地域参画を中核にして、認定こども園・小学校・放課後児童クラブを同一敷地に設置することによる新しい教育環境づくりを推進することにより、幼児期から児童期の育ちを連続性でとらえる教育環境の充実と地域住民が子育て教育に参画する中で有用感や地域貢献の意欲を高めることで、地域活性化を一元的に進める。
学校統合を契機に、小学校間、小学校と中学校、地域の学校教育への参加と学校の地域貢献という双方向の関係づくりを軸に学校と地域社会の連携を強化し、地域に根ざした教育文化を創る。

(2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

6月	第10回統合準備委員会 交流事業（合同修学旅行実施・合同ほたるの発表会実施）
7月	第11回統合準備委員会
8月	第12回統合準備委員会 交流事業（北房地区水泳記録会実施）
10月	第13回統合準備委員会 交流事業（低学年） 交流事業（中学年） 交流事業（北房地区陸上記録会実施）
11月	第14回統合準備委員会
12月	研修視察（幼小連携）
1月	交流事業（高学年） 交流事業（講演会_小中連携）
2月	第15回統合準備委員会

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

地域参画と園・学校の安心安全を両立できる設計者を各分野の有識者からの助言を得て選定し、統合準備委員会を通じて地域の意見を取り入れた配置計画を作成した。

交流活動を通じての、児童の不安解消と統合への期待の醸成を行い、期待感が高まっている。また、学校間交流を行い、学習規律や生徒指導上の約束の一元化と指導が行われつつある。教育課程の一元化、新しい指導要領への対応等を合同で実施し、試行段階を迎えている。

各校・園への地域参画を進め、教育活動への地域人材の活用、地域行事等への子どもの参加が増え、結びつきが強まっている。

(2) 成果物等

- ① 北房地区4小学校交流事業（プログラム）実施効果
- ② 北房地区4小学校教育内容検討概要
- ③ 「こんな子に育ててほしい」募集事業及び結果
- ④ 準備委員会に係る報告書
- ⑤ 新小学校の通学支援に係る検討結果

(3) 今後の取組予定

平成30年4月開校に向け、徒歩・スクールバス通学の課題整理、教育研究会、合同保育・交流事業、統合準備委員会、先進地視察等を通じた研究を実施する。